

- 問1 1842年、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、外国船に燃料や水を与えて退散させる「薪水給与令」を出しました。この政策転換の直接的な背景となった、イギリスが清を破ったアジアでの出来事として正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. アヘン戦争                      2. ロシアの南下政策                      3. 日清戦争                      4. ペリー来航
- 問2 幕末の歴史を振り返る年表において、1854年の日米和親条約の締結から1867年の大政奉還が行われるまでの期間に位置づけられる出来事について述べます。坂本龍馬らの仲介によって、それまで対立していた薩摩藩と長州藩が倒幕のために結んだ軍事同盟を何といいますか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 薩長同盟                      2. 尊王攘夷                      3. 公武合体                      4. 五箇条の御誓文
- 問3 19世紀前半、イギリスは清から茶や絹を大量に輸入する一方で、清への銀の流出を食い止めるために、植民地であったインドからある品物を清へ密輸させる仕組みを整えました。この貿易構造において、インドから清へと送られた品物は次のうちどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 香辛料                      2. 鉄鉱石                      3. 綿織物                      4. アヘン
- 問4 幕末の動乱期において、大きな政治運動となった「尊王攘夷（そののうじょうい）」の思想について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 天皇の権威を利用して外国人と協力関係を築き、幕府の体制を立て直そうとする考え方。                      2. 天皇を尊ぶ立場から、武力を用いても日本から外国人を排除しようとする考え方。                      3. 幕府の権力を強めるために、外国の技術を積極的に導入して軍隊を近代化しようとする考え方。                      4. 朝廷と幕府が協力して、外国との不平等条約を平和的な交渉によって解消しようとする考え方。
- 問5 1858年、江戸幕府の老成であった井伊直弼が、アメリカとの間で結んだ条約の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 朝廷の許しを得ないまま調印し、神奈川（横浜）や長崎などの5港を開港して自由貿易を認めたが、日本側に不利な不平等条約であった。                      2. 開国による混乱を防ぐために井伊直弼が朝廷から正式な許可を得て調印し、国内の物価を安定させるための関税自主権を確立した。                      3. ペリーの来航を受けて締結され、下田と箱館の2港を開港するとともに、アメリカ側に最恵国待遇を認めないことを条件とした。                      4. 外国の商人が日本で罪を犯した際に日本の法律で裁く権利を確保したが、輸入品にかかる関税の決定権を失う内容であった。
- 問6 幕末に日本へ来航したペリーの艦隊は、産業革命によって生み出された蒸気機関を搭載していました。この技術革新が航海に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。                      2. 石油を燃料とすることで、石炭を積むスペースを削減し、船体の小型化に成功した。                      3. 電気モーターを利用することで、騒音を抑えて日本近海へ隠密に接近することが可能になった。                      4. 帆をすべて廃止したことで、船体の重心が安定し、嵐の中でも沈没しない船が完成した。
- 問7 1854年に日本とアメリカの間で締結された日米和親条約において、下田と箱館（函館）の2港が開かれた主な背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
1. 当時のアメリカで普及し始めていた天然ガスの輸送拠点として、日本の港を中継地点にするため                      2. 蒸気機関を搭載したアメリカ船が、航行を継続するために必要な石炭などの物資を補給する場所を求めたため。                      3. 日本の特産品であった石油を安く買い叩き、アメリカ国内の工場の動力源として活用するため。                      4. 日本各地で産出される質の高い薪を、アメリカの捕鯨船が暖を取るための燃料として独占するため。
- 問8 日米修好通商条約に含まれる「関税自主権の欠如」が、当時の日本に与えた影響やその仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 自国の判断で輸入品に高い税率をかけることができず、安価な外国製品の流入から国内産業を守ることが難しくなった                      2. 日本国内で流通する貨幣の発行権を外国に譲り渡すことになり、幕府が経済政策を主導できなくなった                      3. 外国政府が日本の輸出額を自由に管理できるようになり、日本国内の物資が極端に不足する事態を招いた                      4. 日本に入港するすべての外国船から徴収する税金をアメリカに支払う義務が生じ、国家財政が破綻した
- 問9 1842年、江戸幕府はそれまでの方針を転換し、接近した外国船に薪や水、食料を与えて帰すことを命じる「薪水給与令」を出しました。この方針転換の背景となった、当時の東アジア情勢を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. ペリー率いるアメリカの黒船が浦賀に来航したこと                      2. フランス革命の影響によりヨーロッパ諸国との貿易が途絶えたこと                      3. ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し通商を求めたこと                      4. アヘン戦争で清がイギリスに敗れたこと
- 問10 1867年に徳川慶喜が「大政奉還」を行った主な政治的背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 全国の土地と人民を朝廷に直接返し、藩を廃止して県を置く中央集権化を一気に進めようとした。                      2. 倒幕派に武力討伐の口実を与えないよう、自ら政権を返上して徳川家が新政府で主導権を握り続けようとした。                      3. 欧米列強による開国要求を拒否するために、朝廷の権威を利用して鎖国体制を強化しようとした。                      4. 朝廷から政権を預かり直すことで、江戸幕府を近代的な大統領制へと組織改革しようとした。
- 問11 19世紀半ば、水戸藩の徳川斉昭が「弘道館」を設立した当時の社会背景と、同時期に活動した人物の動向について述べた文として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 外国船の来航など対外的な緊張が高まる中、人材育成が急務となり、吉田松陰らが尊王攘夷の思想を広めた。                      2. 墾田永年私財法によって土地の私有が認められたため、有力な貴族が各地に私塾を開いた。                      3. 元禄文化が栄え、近松門左衛門や井原西鶴といった人物が町人の生活を題材にした作品を残した。                      4. 鉄砲の伝来により戦国大名の戦い方が変化し、織田信長が天下統一に向けて教育機関を整備した。
- 問12 1854年に締結された日米和親条約によって、下田と函館の2港が開港された主な目的はどのようなものでしたか。背景を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 蝦夷地（北海道）の開拓を促進し、アメリカへ輸出を行うため                      2. 関税自主権を放棄し、外国との本格的な輸出入を開始するため                      3. アメリカ船の遭難救助や、薪水・食料などの補給を行うため                      4. キリスト教の布教を許可し、西洋の文化を広く取り入れるため
- 問13 日米修好通商条約の締結によって貿易が本格化した際、イギリスなどの欧米諸国から機械生産による安価な製品が大量に流入しました。これにより、日本の農村部などの生産地に大きな打撃を与えた品物の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 生糸・茶                      2. 綿糸・綿織物                      3. 絹織物・陶磁器                      4. 毛織物・鉄鋼